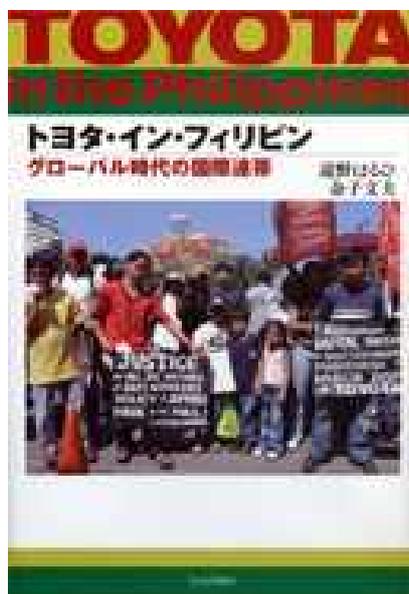


フィリピントヨタ社における労働争議を綴った闘いの記録が、支援する会の事務局メンバー、遠野はるひ・金子文夫の手により出版されました。日本とフィリピンの労働者・市民そして世界各地の労働者の連帯がグローバルに展開していったプロセスが克明に記されています。



# 『トヨタ・イン・フィリピン Toyota in the Philippines -グローバル時代の国際連帯-』 遠野はるひ、金子文夫著

社会評論社、2008年6月刊、363頁  
2800円+税

## <目次>

### はじめに

#### 1. フィリピントヨタ社

フィリピントヨタ社の設立/フィリピントヨタの労働者たち/1992年のピクータン工場/カラバルソンの開発

#### 2. 若者たちは闘う

フィリピントヨタ労組の前史/新組合の結成/ストライキに突入/弾圧がはじまる

#### 3. 飛び散る火種

争議は日本へ/連帯は広がる/困難に挑戦しよう/希望が見えた

#### 4. どちらの道を選ぶのか

多国籍企業の規制/2000年代のトヨタ/アロヨ政権と日本

#### 5. 闘いは国境を越える

さらに強い絆で/新たな危機/承認選挙の実施/グローバルキャンペーン

### 終章

- 本文「はじめに」より -

「トヨタ生産はNo.1、組合つぶしもNo.1」

日本ではほとんど知られていないが、世界の労働界ではよく知られているフィリピントヨタ社の労働争議。労働権を侵害した世界最大級の自動車メーカーが、現地政府を脅して意のままに するという絵に描いたような構図が、争議を政治的なものにした。資本の自由か規制か。企業の利益か労働者の基本権か。支援の波は、多国籍企業を規制しようとする潮流にのって日本から世界へと広がる。